



あぐい

議会だより

議会YouTube
チャンネル登録
➔



今日も満席！「学習カフェ」でテスト直前の追い込み

令和8年6月14日 中央公民館

(関連記事16ページ)



iPhone用



Android用

自治体と地域住民をつなぐアプリ「マチイロ」に『あぐい議会だより』を掲載しています。



議会の流れ (6月議会)

定例会 (3月・6月・9月・12月)

議会に提出された議案などは、開会から閉会までに次のような手続きで審議されます

町の事業全体について執行状況や考え方・見解などを問い、明らかにする。

6月定例会から一般質問
YouTube配信スタート

**6/4・5
一般質問**

CHECK! P8~14

条例改正や補正予算などについて審議。

6/8

- ・議案審議
- ・議案付託※2

CHECK! P3

3月は来年度予算
9月は前年度決算の
精読会※4が行われる。

6/3 開会

本会議 (初日)

議案の提案理由説明※1

常任委員会は付託された議案について詳しく調査、審議をすると同時に、所管事務調査※3を行うこともある。

6/17 閉会

本会議 (最終日)

- ・各委員会の委員長報告
- ・議員全員で議案討論、採決

CHECK! P3~5

**6/13・14
常任委員会**

- ・総務建設委員会
- ・文教厚生委員会

CHECK! P4~5

用語説明

※1…町が議会に対して、提出する議案の説明を行うことです。

※2…「付託」とは、議案について、より詳しく審査を行うため、所管の常任委員会に審査を託すことです。

※3…「所管事務調査」とは、所管する事務について任意に調査することです。

※4…「精読会」では、町が議会に対して、予算・決算について細かく説明を行います。



各議員はこう判断！ 賛否の分かれた議案の審議結果

令和8年 第2回定例会

会期：6月3日～17日



■議案／条例等5件、補正予算2件、承認3件、同意案11件

▲令和8年の
全ての議案はこちら

○：賛成 ×：反対 ―：議長（議長は採決には加わりません）

件名		中村 仁	竹内 啓視	新美加寿奈	瀧塚 政明	山本 恭久	廣瀬 実	都築 清子	新美三喜雄	小柳みゆき	鈴木 算久	山本 良輔	伊東 輝彦	大村 文俊	竹内 卓美	結果
承認	専決処分の承認を求めることについて(阿久比町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

子ども・子育て支援の充実そのものは重要だが、医療保険制度は本来、医療給付を支えるための仕組みであり、医療とは異なる目的の施策の財源を保険税に上乗せするという制度自体に反対である。

新美加寿奈 議員
(JCP あぐい)

「医療」と「子ども・子育て支援」は目的が異なるため、混同した制度に異議

反対

可決
国民健康保険税
条例一部改正
(専決処分)



同意

農業委員会の委員の任命（順不同）

ち さき	よし ひさ	いけ だ	よし のり	はな い	まさ ちか
知崎 剛久 氏（草木）		池田 祥徳 氏（草木）		花井 應慈 氏（植）	
すが わら	あき ひこ	やま もと	なお き	すぎ うら	え み こ
菅原 秋彦 氏（坂部）		山本 直樹 氏（板山）		杉浦恵美子 氏（横松）	
さか べ	たか ゆき	さ さ き	たみ じ	かみ や	やす ひろ
坂部 孝之 氏（白沢）		佐々木民二 氏（阿久比）		神谷 康浩 氏（宮津）	
すず むら	こ	なぎ の	とも ひろ		
鈴木みえ子 氏（矢口）		柳野 智博 氏（高岡）			

●2月26日から5月27日までの間に、12件の陳情を受付しました。

件 名	保育等の公定価格の見直しに向けて国への意見書採択を求める陳情
	介護報酬および障害福祉サービス等報酬の臨時改定にむけて国への意見書採択を求める陳情
	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情
	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情
	愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知県が積極的な役割を発揮することを求める意見書の提出を求める陳情
	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情
	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情
	教職員の長時間過密労働を解消するための実効ある施策をすすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに解消するための施策を求める意見書の提出を求める陳情
	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

こんなことを聞きました

第6次阿久比町総合計画基本構想の変更

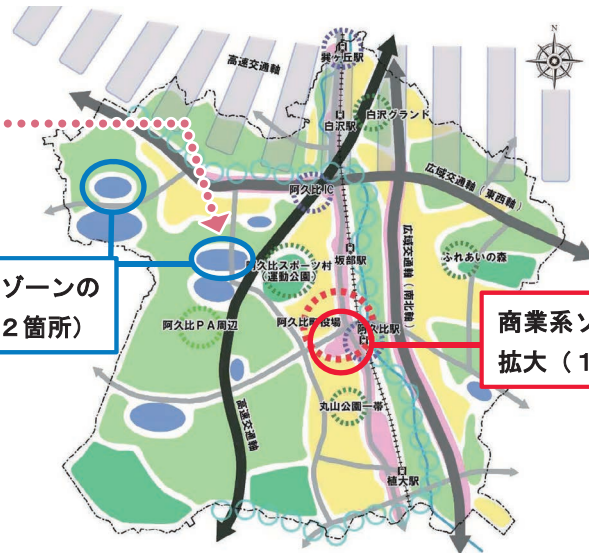
問 事業展望の具体的な見通しは。

答 一定の見通しが得られたため位置付けを行ったが、不確定な部分が多く、詳細な説明は差し控えたい。

問 ホタルの生息地に隣接する、中部工業団地北側の工業系ゾーンで、企業誘致と自然環境保全をどのように両立するのか。

答 自然環境を保全する地域と開発を進める地域を区分し、環境との調和を図る。工事前調査でホタルが確認された場合は、移植などの保護措置を講じ、事業者にも保全対策を指導する等の策を講じていく。

土地利用構想図（令和8年6月部分改訂）



工業系ゾーンの追加（2箇所）

商業系ゾーンの拡大（1箇所）

参照：第6次阿久比町総合計画

環境のバロメーターになっているホタルと企業の共生を目指す



問 商業系ゾーンの整備は、周辺の小売店への影響を考慮して進めるか。

答 現在は、総合計画や都市計画マスタープランの位置づけの段階であり、施設内容や規模、配置は今後検討する。既存の小売店に配慮するとともに、地域のにぎわい創出につながるよう進めていく。

問 パブリックコメントでは、水田の減少による防災機能の低下を懸念する意見があった。町が説明する調整池とは。

答 この調整池は、開発に伴い区域内に新たに整備するもの。雨水流出を抑え、下流への影響を軽減するため設置する。

視察レポート

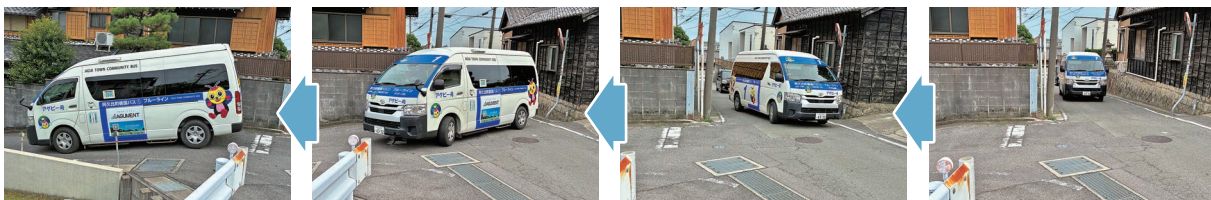
アグピー号グリーンライン現地確認

目的

10月から新たに南部地区のグリーンラインが追加運行されることになり、その安全性の確認をした。

視察を終えて

- 3路線の運行で、平日の午前中は便数も増加する。
- 阿久比川を横切り、東西の便が良くなる。
- 植地区は道路が狭く、一層の安全運転を望む。
- 狭い曲がり角で「止まれ」の表示が消えている所がある。
- バスの運行をスマホで確認できる「バス・ロケーション・システム」が導入される予定。



見通しが悪くコンパクトに曲がるテクニックが必要（植公民館北）

（副委員長 廣瀬 実）

こんなことを聞きました

オアシスセンター
トイレ等改修工事

問 設計監理費用は。

答 設計は、令和7年度に執行済で契約金額は264万円。

監理業務委託は今年度236万5000円で契約した。

問 工事期間が今年度末までとなるのは、なぜか。

答 便器の洋式化だけでなく、屋上階からの給水管改修、各トイレまでの給排水管の改修等により、この日程でもタイトなスケジュールとなる。



中央公民館本館
トイレ改修工事

問 ブースの大きさ及び配置の変更は。

答 数の変更はない。個室の位置は、男子用については北側に、女子用は西側に設け、大きさは、おおよそ庁舎の個室と同等のサイズである。

問 非喫食者は、アレルギーとか、宗教上の理由もあると思うが、この24人の理由は。

答 学校給食センターのアレルギー対応は、現在、卵と乳の2品目について除去食の提供をしており、先ほど述べた対象者は、食物アレルギーと認識している。



学校給食運営費の
増額38万5000円

問 25人分の非喫食者への交付給付金だが、各小学校の対象者数は。

答 東部小6人、英比小15人、草木小2人、

南部小1人、計24人となるが予算上25人分としている。

問 介護情報を連携するため業務委託する

答 ケアプランに関する情報が共有される。今後、要介護認定情報や、住宅改修、福祉用具に関する情報も共有し、利便性を図る予定である。

問 連携する介護情報とは。

答 ケアプランに関する情報が共有される。今後、要介護認定情報や、住宅改修、福祉用具に関する情報も共有し、利便性を図る予定である。

問 連携する介護情報とは。

答 ケアプランに関する情報が共有される。今後、要介護認定情報や、住宅改修、福祉用具に関する情報も共有し、利便性を図る予定である。

問 連携する介護情報とは。

答 ケアプランに関する情報が共有される。今後、要介護認定情報や、住宅改修、福祉用具に関する情報も共有し、利便性を図る予定である。

視察レポート

本町における介護保険制度の展望と対策

現 状

本町の介護費用は年々増加。過去8年間のデータから比較して約5億円増えている。(右図参照)

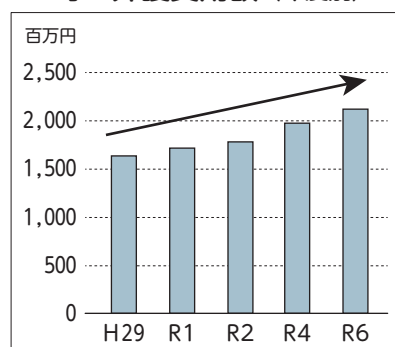
本町の特徴

他市町と比較して人口減少は緩やかだが、高齢者の割合は増えていくので介護費用の負担増が予想される。将来65歳以上の人口が増え、一方40歳から64歳までの人口は減り、その割合が逆転する。(下図参照)

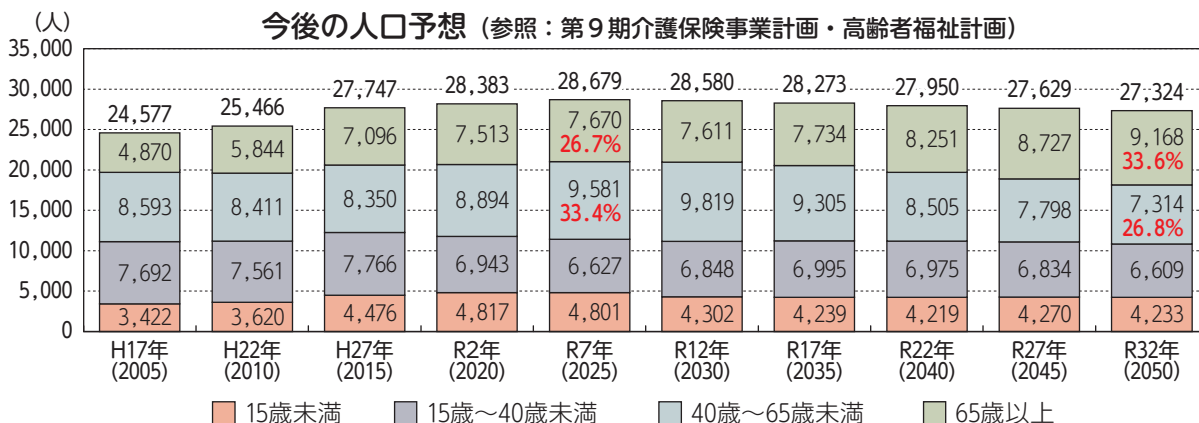
対 策

医療・介護の事業者だけでなく、フレイル予防などを実施し健康寿命を伸ばす。また地域包括ケアシステムで互助を活性化し、地域の支えあいで持続可能な仕組みを構築する。

町の介護費用額 (年度別)



今後の人口予想 (参照：第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画)



あーさん
ぐーさんの

知っとく情報

～トイレがグッと使いやすくなります～



やったー！中央公民館とオアシスセンターのトイレが新しくなるんだって。

そうなの、6月議会で工事請負契約が可決されて、洋式化の工事が進められることになったのよ。



大掛かりな工事になりそうね～。

うん、契約金額も中央公民館が6,688万円。オアシスセンターは8,140万円。



高額だけど、それだけみんなが使いやすくなるってことね。最近では和式トイレが苦手な人も多いし、私も子どもを連れていくことがあるから、助かるなあ。

足腰に不安のある方にとっても、嬉しいニュースよね。どれくらい変わるか見てみましょう。



工事前(Before)

	中央公民館
	男性 女性 多目的
1F	男性 女性 多目的
2F	男性 女性 多目的
3F	男性 女性 多目的

	オアシスセンター
	男性 女性 多目的
1F	男性 女性 多目的
2F	男性 女性 多目的
3F	男性 女性 多目的

工事後(After)

	中央公民館
	男性 女性 多目的
1F	男性 女性 多目的
2F	男性 女性 多目的
3F	男性 女性 多目的

	オアシスセンター
	男性 女性 多目的
1F	男性 女性 多目的
2F	男性 女性 多目的
3F	男性 女性 多目的



こんなに変わるんだ！利用するのが楽しみね！

- ③① 町議会の広報広聴の仕組み
- ③② 議案説明及び付託
- ③③ 議場カメラ位置移設
- ③④ ICT活用と情報発信
- ③⑤ 委員会視察
- ③⑥ オンラインによる方法を活用した委員会等の開催要綱の策定

【第4回 中間報告】

引き続き、精力的に議論を重ねてきた項目
第17回(3月30日)から
第20回(5月19日)まで

立法・監視
機能強化

実効性&
信頼性向上

透明性
向上

議会改革調査 特別委員会

あの答弁は 怎么样了！

令和7年12月定例会

5歳児健診を生かし切れ目ない支援を

Q 令和8年度からの5歳児健診実施について、本町の見解は。

A 関係機関との調整や予算措置が伴うが、令和8年4月からの実施を目指して事務を進めている。



こども家庭庁HPより

怎么样了

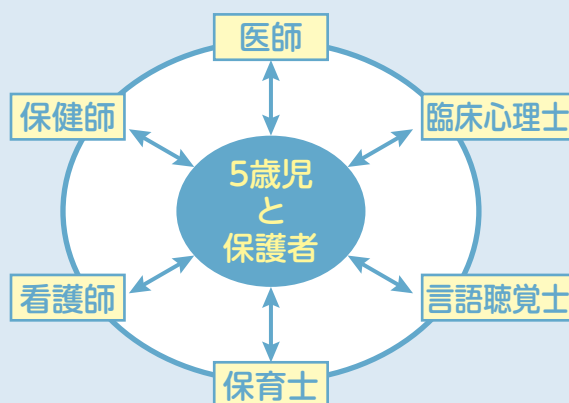
令和8年4月～

①月に1回実施

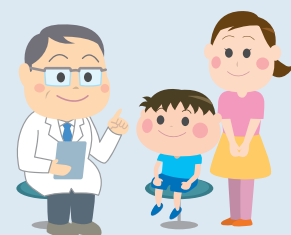
②多職種による相談体制で実施

●健診の目的

子どもの健康な成長と発達を見守り、より良くすること。また課題を早期に発見し、必要な支援につなぐこと。



小学校入学を見据え、保護者の育児に関する困りごとや心配ごとにも対応する。



令和7年9月定例会

子どもの冷却グッズ用冷凍庫の設置

Q 下校時に使用できるよう、冷却グッズの冷却・保管用の冷凍庫設置についての見解は。

A 学校現場の意見も傾聴し、検討していく。



他市町の冷凍庫導入例

怎么样了

令和8年4月～

ウォーターサーバーを設置 (小中学校に、計11台)

学校現場の意見は、熱中症対策として、ウォーターサーバーの設置を希望した。



東部小の設置例 (地元企業の寄贈)

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う



ページ	議員名	質問項目
9	にいみ みきお 新美三喜雄	1. 阿久比スポーツ村の今後 2. 都市公園等の整備
10	たけうち ひろし 竹内 啓視	1. 人口減少社会への対応
11	つづき きよこ 都築 清子	1. 倒木被害予防 2. 読み書きに困難を抱える子への支援
12	にいみ かずな 新美加寿奈	1. 廃棄物・再生資源物屋外保管事業場と住環境の保全 2. 国民健康保険事業の今後
13	やまもと りょうすけ 山本 良輔	1. 小学生の登下校時における安全確保について
14	たきづか まさあき 瀧塚 政明	1. 町長の町政運営



各議員の
通告書はこちら



YouTube
配信はこちら

一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
質疑の概要については質問者が要約し、編集委員が校正しています。

答弁者

町長 …町長

副町長 …副町長

教育長 …教育長

総 …総務部長

民 …民生部長

建 …建設経済部長

教 …教育部長



各議員が質問した記事に関連するSDGsの
目標アイコンを掲載しています。

今回の傍聴人数 延べ **45人**
(6月定例会)

傍聴席へどうぞ
次の定例会は **9月2日(水) 開会**

午前10:00～開催予定です。日程は変更になる場合があります。詳しくは阿久比町ホームページの議会事務局お知らせをご覧ください。一般質問は毎週日以降にCACで放送されています。



**皆様からのご意見や議会だより
原稿を募集しています！**

議会へのご意見・期待・要望や地区の出来事・自慢等お寄せください。応募は、議会事務局まで。

- 電話：0569-48-1111(代表)
- FAX：0569-48-1711
- E-mail：gikai@town.agui.lg.jp

阿久比スポーツ村の今後

3 すべての人に健康と福祉を



官民連携により利用率の向上と財源確保を検討

問 令和8年度に策定予定の「阿久比スポーツ村整備基本構想」が決定していない中、交流センターがオープンした令和4年度以降、プール関係や陸上競技場等のスポーツ関係施設の更新等により、当初、約13億円あった阿久比スポーツ村整備基金の残高が4億円余りとなっている。

問 スポーツ村整備基本構想のために発足した「未来をつくる対話会」の進捗状況は。

答教 フューチャーセンタ―による対話会、意向調査の結果を受けて、3つのコンセプトについて検討している。

①日常的に寄り添うコミュニティパーク

②知多半島の次世代アスリートの育成拠点

③野球の歴史を未来につながるメモリアルパーク

問 コンセプトづくりは、利用者の意見を反映させるほど設備は膨張し、維持管理費の増加等がブレキとなる。
どのようなメンバーか。



いみ き お
新美三喜雄 議員
(新済会)

答教 フューチャーセンタ―方式により、公募により多様な立場の方々に参加していただき、将来のスポーツ村のあり方について意見交換を行った。

問 今後の設備保全・維持管理費の増大が気になるが、予算の歯止めは。

答教 今後も施設の経年劣化による老朽化対策は、実施する必要があるが、財政的負担は看過できない状況にある。

問 使用料やネーミングライツ等による収入と、設備管理費等にかかる支出のバランスは。

答教 令和7年度の施設使用料は、約843万円、維持管理費は8800万円程度を見込んでいる。

支出が収入を大きく上回っており、既存施設の有効活用、利用率の向上、官民連携、ネーミングライツ等による財源確保の可能性を検討する。

問 陸上競技場や野球場は町外の利用者が多い。反面、交流センターや他の施設は、町民の利用が多い。

町内外を問わず、利用促進を図るための方策は。

答教 日常的に立寄れる機能を充実させる一方で、施設を活かした大会や試合の利用に加え、かつてのプロ野球二軍準フランチャイズ球場としての歴史やイベントを組合わせて来訪のきっかけとなるよう努める。

問 スポーツ村は、広域的なレクリエーションに対応した緑地としての機能があるが、緑地としての保全をどのように取組んでいくのか。

答教 可能な限り緑地を確保し、適切な維持管理により保全する。

都市公園等の整備

重点を置いて整備の進捗を図る

緑の基本計画（令和3年策定）によれば、都市公園の面積は、町民一人当たり2・3㎡となっている。

県内でも少なく地域バランスの不均衡が指摘されている。

問 都市公園等の整備には、毎年1000万円から2000万円しか計上されていない。ふれあいの森や広域的なレクリエーションを行うスポーツ村の整備も重要だが、都市公園等の整備もバランス良く予算配分されるべき。



フェンスは壊れベンチもない都市公園（宮津公園）

答建 今後の公園施設整備に関しては、真に必要な公園施設に重点を置き、整備の進捗を図っていきたいと考えている。

人口減少社会への対応



地方創生総合戦略を策定し実施する



町のHPにデジタル版があります

あぐいらしい風景と暮らしづくり読本

阿久比町 地方創生総合戦略

人口減少は人数の問題ではなく、地域の担い手不足による支え合い機能の低下、経済規模の縮小、公共施設やインフラ整備の維持管理の問題、社会保障費（介護保険等）の増加など、自治体運営のあらゆる分野に影響を及ぼす構造的な課題である。今後は、「人口が減少すること」を前提とした行政運営へと転換していく必要があると考える。

問 人口減少をどのように認識し、今後どのように対応していくのか。



たけうち ひろし
竹内 啓視 議員
(幸福実現党)

答 町長 子育て世代を中心に人口が増加したが、今後は減少傾向が続いていくと認識している。地方創生総合戦略を策定し、さらに進行すると見られる人口減少局面に対応していく。

問 公共施設やインフラ整備についての維持管理費は引き続き必要となる。今後、施設の統廃合や機能集約なども含め、どのような対応を進めていくのか。

答 町長 施設等の長寿命化を図り、現在の規模と配置を維持していくが、長期的には統廃合等を検討していく。国内外の情勢の影響から、コストの見通しが難しい状況であり、今後、適正な使用料の徴収について検討する必要がある。

問 介護の需要はますます増加するが、それを支える現役世代は減少している。今後、持続可能な介護体制をどのように構築していくのか。

問 子育て世代に選ばれるまちづくりとして、今後どのような子育て施策に重点を置いていくのか。

答 町長 現在本町に住んでいる方が、今後も住み続けたいと感じていただけるような事業を展開する。子育て世帯に寄り添い、人と人とのつながりを大切にして事業を実施していく。

問 本町が移住先として選ばれるために、近隣市町との差別化をどう図っていくのか。

答 町長 町の魅力を発信することで、様々なシタイプロモーションに取り組み移住施策を進めてきた。近隣市町よりも魅力のある町であることを発信し、本町の特徴を活かした定住施策も合わせ人口減少対策を進めていく。

読み書きに困難を抱える子への支援



学校現場の理解と協力体制が不可欠

文字の読み書きに限定した困難がある「発達性ディスレクシア」(注1)は会話や知的能力に問題がないため周囲や家族からも気づかれにくいのが特徴。

授業についていくことが困難で、学習意欲の低下や自信の喪失になりやすい。周囲のサポートがあれば大幅に軽減できる。

問 小中学校で読み書きが困難な児童生徒数の把握。

答 教 是つきりとした診断がされておらず、完全な把握は難しい。概数として5名。

問 保護者・学校・教育委員会が連携して支援につなげるための手段。

答 教 町立園では、年長児の読み書きに触れる活動の中で気になる子の把握に努め、特別支援教育指導員が保護者との就学相談を実施し、個別最適な支援に繋いでいる。

小中学校では、診断がなくても普段の学校生活の中で、学習障害が疑われる場合は特別支援コーディネーターや特別支援

教育指導員と相談し保護者面談の際に担任から声掛けをしている。教育相談員の巡回指導において、支援方法について助言している。

問 理解のための教員の研修はどのように実施しているか。

答 教 令和6年度に研修会を開催、講演会に出席。令和7年度からは、読み書きスクリーニング検査の勉強会を開催している。

問 早期に発見するため就学時検診・入学時のスクリーニング検査は。

答 教 就学時健診、入学当初の検査実施については先生方の理解と協力体制が不可欠である。

問 早期発見・早期支援に成果を上げている「Tsukubaモデル」(注2)の導入。

答 教 ディスレクシアについて理解を深め、必要な研修を受講し、検査結果に対して、夏休み中のひらがな練習に保護者の協力が得られることができれば、2学期以降に該当児童が目覚ましい習得

(注1) 発達性ディスレクシア

先天性の脳の機能の発達に問題が生じて起こる学習障害。環境によって起こるものではない。

(注2) Tsukuba (つくば) モデル

筑波大学元教授宇野彰氏の指導による小学1年生で「ひらがな読み書き100%達成」を目指し、支援を行う教員は指導法の研修を受講する。



つづき きよこ
都築 清子 議員
(公明党)

を得られる可能性がある。成果は先生の授業中の支援・負担が減ることにもつながるため、先生方の意識の醸成を促せるよう学校に相談をしていく。

倒木被害予防

腐食や幹の空洞・亀裂など確認

発達した低気圧や季節外れの強風が頻発し全国で倒木による被害が相次いでおり、人的被害に直結する重大な危険をもたらす安全確保が求められる。

問 目視で確認する基準。

答 副町長 道路 樹木の腐食や折れ。

・公園内 傾きなど外見上の異常の有無。
・学校敷地内 根元や幹の低い位置にキノコ類の生育の有無、幹の空洞や亀裂、全く葉のついていない枝など。

問 倒木とブロック塀の倒壊リスクを持つ対象を一体的に相談・点検・診断・予防的な撤去・伐採費用助成などを含む包括的な安全対策事業の拡充は。

答 副町長 工作物であるブロック塀には、地震時の倒壊防止を目的に解体費を補助しているが、自然物である樹木は、民法では所有者もしくは管理者に維持管理の責務があるとされている。

現時点では一体的に扱うことは困難と考える。当面の間は国や県の動向を注視することとしたい。



国土交通省 道路局
「街路樹点検の実施促進のためのガイドライン」より
※定期巡回における主な着眼点



スクラップヤードと住環境を考える



国の法改正と厳格な適用が必要

全国の都市郊外では、一部の施設における廃棄物や再生資源物の不適切な屋外保管をめぐって住民の不安が高まっている。町内にも13カ所ほどの廃棄物・再生資源物屋外保管場（以下、屋外保管場）が把握されており、景観悪化や環境問題への対応、住環境を守るための対策が求められている。

問 屋外保管事業場について、住民から寄せられた相談や意見・要望は。

答 金属、プラスチックなどの山積み、野ざらしでの長期間放置に伴う廃液流出による河川やため池などの汚染、大型トレーラーの通行による事故の懸念、景観の悪化 など。

問 近隣住民への丁寧な情報提供や説明は。

答 地元区長や近隣住民の方から要望があれば、説明会の実施を働きかけたいと考えている。

問 屋外保管事業場にて大型車両の出入り口が通

学路に面している場合の生徒の安全の確保は。

答 土地開発行為に関する指導として、通学路が隣接する場合は、事業者が留意するよう示している。登下校時の安全については、学校を通じて交通安全指導を徹底するとともに登下校時には特に安全に留意するよう民間事業者をお願いしている。

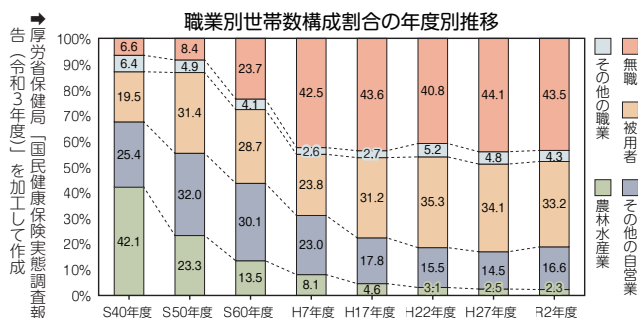
問 屋外保管事業場について、現行法令のみで住環境保全上の課題に対応可能か。

答 再生資源物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上の廃棄物に該当しないことがあり、保管について規制する法令がなく、収集運搬についても許可が不要である現行法令で、住民の生活環境保全上の課題に十分な対応ができないと考えている。

問 町独自でガイドラインや条例等を制定する考えは。

答 法律の改正や厳格な適用、国による一律規制が必要であると考えて

おり、町独自のガイドラインや条例を制定する考えはない。



※QRコードからご覧になれます

環境省は令和8年4月に「廃棄物処理法等の一部を改正する法律案」を閣議決定し、国会へ提出した。



国民健康保険事業の今後

自立した国保財政の確立を目指す

国民健康保険（国保）は、その運営を市町村が担っていたが、平成30年から都道府県が財政運営の責任主体となり、愛知県では令和11年度までに県標準税率に統一する方針が示されている。社会構造等が変化し、無職者や被用者（非正規雇用者）が8割近くを占めることとなった（上表）この制度の持続可能性が、重要な課題となっている。

問 被保険者の年齢構成・所得構成の変化。

答 被保険者の半数を前期高齢者が占めている。低所得層の割合が高く、低所得による軽減対象世帯は全体の51・7%。

問 国保税負担軽減のための本町の取組。

答 医療費の適正化と歳入確保に取組み、国保税の負担抑制を図っている。

問 被保険者数の推移。

答 人口減少、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ順次移行したこと、社会保険への加入要件が



にいみ かず な
新美加寿奈 議員
(JCPあぐい)

児童の登下校時の安全確保は



安全確保の責任は保護者にある

近年、全国各地において登下校中の交通事故や児童を狙った声かけ・不審者事案が継続的に発生している。

特に小学校低学年児童は、危険予測能力や交通判断能力が未成熟であり、通学時の安全確保は自治体・教育委員会にとって重要な課題である。

一方で集団登校の見直しや個別登校を進める学校も見受けられるが、その安全性について十分な説明がなされているとはいえない。

問 教育委員会は、小学生の登下校時における安全確保について、どのような基本方針を持っているか。

答 教員 法律に基づいて、登下校の安全確保の責任は基本的には保護者にあると考える。

帰宅後の子どもの行動は、保護者が責任をもって管理する。

学校は、通学路の設定、登下校の安全指導を徹底する。

自治体が、道路インフラを整え、学校と保護者、地域が協力して安全確保に努める。

問 登下校時の安全管理に対する基本認識について、特に低学年児童の危険予測能力や交通判断能力の未熟性について、どのように認識しているか。

答 教員 大人に比べて視野が狭く、横方向から近づく車両に気づき難い。集中すると周りが見えなくなる空間認知能力が十分発達していない。

このような特性に基づき、発達段階に合わせた指導が必要である。

問 個別登校を実施している学校や試験導入した学校において、集団登校に比べ安全性が維持または向上したことを示す客観的データは存在するか。

答 教員 本町独自の客観的データは持っていない。

問 教育委員会として、今後どのように児童の登下校時の安全性向上を図っていく考えか。

答 教員 会議において登下校時の安全性向上につながるよう、グリーンベルトの設置などを関係機関に働きかける。

「子どもたちのリスクをいかに減らすか」という思いは同じで、保護者と地域の意向を十分考慮したうえで総合的に判断するものと考えている。



やまもと りょうすけ
山本 良輔 議員
(新風会)

要旨：登下校は学校の管理下ではない。
しかし、子どもの安全を考え集団登下校という方法をとる。

参考：岩倉市五条川小学校HPより

本校の登下校について

R8.2 改訂

基本的な考え方

・ 文部科学省より、「登下校は学校の管理下ではない。保護者と地域の責任で見守る。」とされています。しかし、子どもの安全を考え、本校では個別の登下校ではなく、集団登下校という方法を取り、地域と話し合う中で通学班を決めています。ただし、登下校は学校の管理下ではなく、保護者と地域の責任で見守ることは変わりません。これらを踏まえた上で、保護者の方には、自分の子どもの登下校に責任をもっていただくようお願いします。



保護者に知っておいてほしいこと

- 通学班は、「児童が安全に登下校できる」ことを目的として、学校が調整し、安全指導の単位としている組織であること。
- 地区によっては旗番組織を組み、保護者相互の協力活動を行っています。
- 神野、井上、八幡地区においては、ボランティアさんによる見守り組織が作られており、活動していただいています。ボランティアさんの事故については市で保険に加入していますが、児童の管理に対する責任はもてません。
- 石仏踏切を中心に市で委託している交通指導員さんが登下校の安全確保を行っています。
- 交通安全ボランティアとして、登録することが可能です。登録・詳しい内容に関しては、本校教頭にご相談ください。ご協力をお願いします。



登校のルール

- 通学班の集合場所に決められた時刻までに集まり、班長・副班長の指導の下、通学班で並んで登校します。8:10～8:15に学校の門を通過できるように出発時刻を決めています。(多少の前後は構いません)
- 通学班で登校できない場合は、保護者の管理で登校をしていただくために、保護者による送迎が必要です。出発時刻に間に合わず、地域の見守りの方に託すことは本来の趣旨とは異なりますので、避けないよう見届けてください。
- 遅刻となり、保護者が送迎の場合は、門に入り職員室に声をかけ、教室まで付き添って担任に引き渡します。保護者が付き添わずに児童のみで登校させることは、安全管理上大変危険です。絶対にやめてください。



個別登校の様子



集団登校の様子

町長の町政運営

引き続き町政の発展に取り組む

第6次阿久比町総合計画の目指すべきまちの将来像「輝く子どもたちをみどりが包むまち・あぐい」の実現に向け、4つのまちづくり施策を公約として、未来ある調和のとれたまちづくりに取り組んでいる。

問 町長が公約とした4つのまちづくり施策の成果と今後の展望。

- ① 教育のまちづくり
- ② にぎわいと活気のあるまちづくり
- ③ 住み続けたい調和のとれたまちづくり
- ④ 安全で安心なまちづくり

答 町長 ① 幼保小中一貫教育プロジェクトで外国語と体力向上に取り組む柱を新設。インクルーシブ教育も推進し、必要な合理的配慮を行なった。ICT教育の推進はGIGAスクール構想第2期に向け、すべてのタブレット端末を更新する整備を行なっている。熱中症対策は中学校体育館、アザレアホ

ール、武徳館、4小学校体育館の空調設置に順次着手した。通院と入院に係る医療費助成を高校生年代まで拡張した。

② 第6次町総合計画基本構想の変更と部分改定予定の都市計画マスタープランで、新たな産業系市街地に草木地区と卯坂地区の2地区を、商業系市街地に役場南地区を位置づけた。駅東への利便性の向上とオアシス大橋の渋滞緩和の道路計画は、予備設計まで終了。ロータリー設計などを進め駅の利便性向上を目指す。スポーツ振興は、交流センターの屋内プールを温水化整備。トラッド改修と天然芝生化工事が完了する陸上競技場は、9月開催の愛知・名古屋2026アジア競技大会のサッカー競技練習会場で使用。「阿久比スポーツ村整備基本構想」を策定し、潜在的な施設能力を最大限に生かし、気象に集い、憩える施設として



たぎづか まさあき
瀧塚 政明 議員
(志雄会)

いく。

③ 都市計画道路名古屋半田線など主要道路の早期完了と事業化を実現できるように県に対し強く要望し、連携協力をしていく。循環バスアグッピー号は10月から、3路線に増便し、デマンドタクシーの実証実験を始める。効率的、効果的な行政運営のため、機構改革も行った。

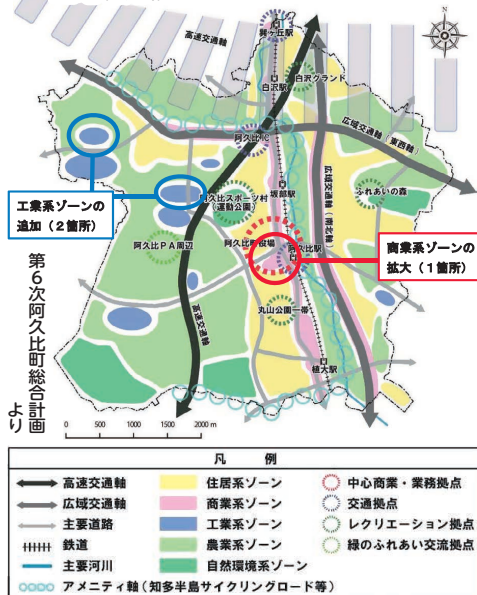
④ 令和5年度から小学校区単位で、地域と連携協力した防災訓練を実施。また、愛知県や関係団体と構築した防災連携の関係性を継続し、防災力向上を図っていく。

問 田中町政の成果をさらに発展させ夢のある新しい阿久比町を実現させるため、任期満了後も引き続き町政運営に取り組む意思。

答 町長 対応しなければならぬ課題も多く、夢の途中でもある。課題に

向き合い町民の満足度の向上を図り、今後も事業を進めていく責任と情熱は一層増している。チャレンジ精神は誰にも負けない。町民の理解をいただけるのであれば、引き続き町政のかじ取り役としての重責を担わせていただきたいと思っている。「夢」に向かって、「最高の景色」を見せられるよう、町民の声を傾け、心に寄り添いながら、「住み続けたい調和のとれた町、にぎわいと活気のある町」をさらに前進させるため、持てる力を発揮し、町政の発展に取り組んでいきたい。

土地利用構想図（令和8年6月部分改訂）



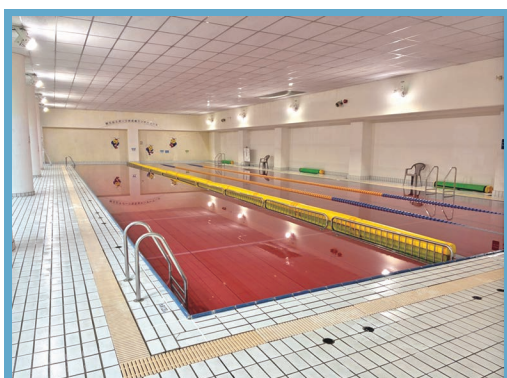
注：この図は、長期的な視野により目指すべき都市の姿を想定したものであり、具体的なルートや位置、規模を想定したものではありません。



どんどん変わるスポーツ村 利用者の声

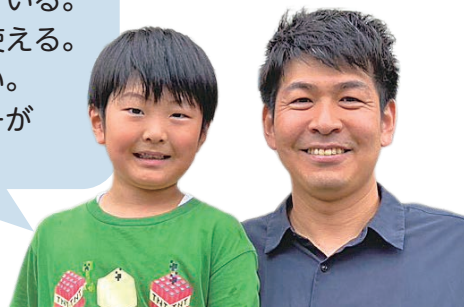
阿久比スポーツ村は、町のみなさんが気持ちよく使えるよう、これまで大きな整備を続けてきました。だからこそ、「実際に使っている人の声を大切にしたい」と思い、今回の取材を行いました。

みなさんの声を、これからのスポーツ村づくりに役立てるように提言します。

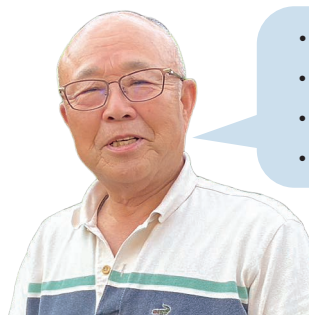


令和7年4月から通年利用可能

- ・親子で楽しく利用している。
- ・混雑なく、ゆったり使える。
- ・ロッカールームが狭い。
- ・水着脱水機やシャワーがほしい。



あんま わくと 安間 湧飛 くん
あんま ゆう き 安間 佑騎 さん(坂部)



たけうち やすとし 竹内 寧敏 さん(白沢)

- ・週1～2回利用、健康づくりに役立つ。
- ・料金がお手頃で続けやすい。
- ・スタッフが親切で安心して利用できる。
- ・水質が他市町よりきれいで気持ちいい。

- ・子どもと一緒に安心して利用できる。
- ・安全に見守れるので使いやすい。
- ・お風呂があるとさらに嬉しい。
- ・シャワー設置予定はととてもありがたい。

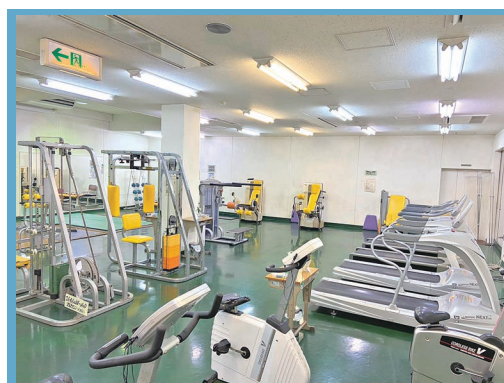


やまもと さと み 山本 知美 さん(宮津山田)



おがわ ゆ き こ 小川由貴子 さん(陽なたの丘)

- ・数年前から利用している。
- ・1回ごとの利用料金で使えるのが便利だし200円とお値打ち。
- ・筋トレ機器が多種類で使いやすい。
- ・機器が新しくなることを知り、さらに楽しみが増えた。



機器が更新されるトレーニング室

- ・以前から利用している。交流センターの前はクラブハウスにトレーニング室があり、そこは光と景色がとてよく、気持ちよく歩いたり走ったりできた。(今は、それができなくてちょっと残念)
- ・シャワーが欲しい。料金はお手頃で良い。



女性 40代 町内在住

阿中生のための「学習カフェ」

～子どもたちの居場所として～

「学習カフェ」は、テスト前一週間程、中央公民館で、大学生や高校生の学習支援ボランティアと地域のスタッフが、学習サポートを行い、テスト勉強に取り組める場所です。

また家庭や学校以外の「第3の居場所」として、安心して過ごせる環境づくりを大切に、学習支援ボランティアに気軽に質問ができ、日常的な会話も生まれ、地域の中で繋がりや交流も広がります。

学習カフェを運営している
こども食堂ぽかぽか

たけうち はる よ
メンバー 竹内 治代 さん



6月は
延べ202人が参加

人に教える事は初めての経験でしたが、思いがけず楽しかったです。
教える事で自分も成長できた気がするので嬉しいです。



学習支援ボランティア
さいとう とも き
齊藤 智己 さん(高1)

利用者の声

- ・ 数学は難しいけど大学生に教えてもらえてよかった。
- ・ 友達と一緒に勉強ができた。
- ・ 定期テストがんばります！
- ・ 学習カフェこれからもやってほしいです。

編集後記

議会だよりを編集する中で皆様へのインタビューを行ったところ、「読みやすくなってきた」「チャレンジし続けているね」というお言葉をいただき、編集メンバーとしてとても励みになりました。

今後も引き続き、読者目線を忘れず、発行が待ち遠しくなるような内容をお届けしていきたいと思います。

(竹内 啓視)

議会だより編集特別委員会

- 委員長／鈴木 算久
- 副委員長／廣瀬 実
- 委員／竹内 啓視
- 委員／都築 清子
- 委員／新美加寿奈
- 委員／山本 恭久

次回の議会だよりは令和8年11月1日発行です